

② あおいは りっぱな 二年生



きょうは、ひさしぶりのよい天気です。うんどう場で思い切りあそべます。大すきなおにごっこができるので、あおいは楽しみでしかたがありません。

昼の休み時間になると、あおいは、わくわくしながら、るみちゃんたちといっしょにいそいで教室を出ました。くつをはきかえてうんどう場に出たところで、あおいは、花だんのすみで、ないている男の子を見つけました。一年生のようです。

(どうしたのかな。)

あおいは 気になりましたが、るみちゃんの

「じゃんけんするよ。」

と、いうかけ声で、おにごっこを始めてしまいました。

大すきなおにごっこののに、あおいは、いつもほど楽しくありません。

おにからにげているときも、やっぱり、さっきの男の子のことが気になります。

(だいじょうぶかな。だれか気づいてくれたかな。)

あおいは、男の子が見えるところまで走っていきました。

(あつ、まだひとりではないている。)

あおいは、るみちゃんにむかって

「ごめん。」

と、さげぶと、おにごっこをぬけ出して、男の子のほうへかけよりました。よく見ると、ひざからちが出ている。

「だいじょうぶだよ。ほけん室に行こうね。」

あおいは、男の子の手をひいて、ほけん室に行きました。ほけんの先生は、

「あらあら、ころんでしまったのね。」

と、やさしいえがおでむかえてくれました。

ほけん室には、ねつを出したのか、ベッドでねている人もいまし





た。あおいは、
「ねて いる 人が いるから、しずかに しようね。」
と 小さな 声で 男の子に 言いました。男の子は、
だまって うなずくと、なくのを やめました。
「あおいさんは 二年生に なって、りっばな おね
えさんに なりましたね。」
ほけんの 先生が ほめて くれました。あおいは、
てれくさかったけれど、ほけん室を 出ると、心の
中で（りっばな 二年生、りっばな 二年生）と く
りかえしながら、スキップで うんどう場へ むかいました。

考えよう 話し合おう

- 男の子の 手を 引いて ほけん室に 行く とき、あおいは どんな ことを 思っていたのでしよう。
- りっばな 二年生に なるには、どんな ことに 気を つければ よいので しよう。

〈かんがえたこと・おうちの人とはなしあったことをかきましよう。〉

Blank writing area with vertical dashed lines for notes.